東京でも配布中のミニコミ紙
網走・オホーツクの魅力をお届け！

LOVEあばしり

第4号

発行元　LOVEあばしり実行委員会
https://www.facebook.com/loveabashiri
連絡先　we_love_abashiri@yahoo.co.jp
編集長　渡辺和也
企画・編集　伊藤雄一／北乃勘九郎／北畑紀和
清原鉄男／佐藤正隆／杉本かなえ
平賀貴幸／松原美里／吉田智美
渡辺和也　※五十音順
構成　板橋幸太朗／川原田晋也
発行日　2013年4月30日
協賛　舶陽電機

流氷硝子館
5/2（木・祝）～5/8（水）：池袋 東武百貨店に登場！
◆東武百貨店池袋店「初夏の大北海道展」に出展、製品を販売。
お問合せ：流氷硝子館 0152-43-3480 まで

博物館 網走監獄
5/3（金）～5/5（日）：GWイベントを開催！
◆文化財スタンプラリー“監獄の謎”　◆網走刑務所伝統の窯業を体験！
◆網走監獄屋台出現！受刑者に評判（？）幻のメニューが勢ぞろい　など。
お問合せ：博物館網走監獄 0152-45-2411 まで

ひがしもこと芝桜公園
5月中旬～6月上旬：丘陵一面に咲く芝桜が見頃に！
◆5月23日（木）～26日（日）の19～21時はライトアップを開催。
お問合せ：東藻琴芝桜公園管理公社 0152-66-3111 まで

旬の美味しい食材
魚介類…毛ガニ、ズワイガニ、アブラガニ、ホタテ、シジミ
北海シマエビ（7月）、エゾバフンウニ
野菜類…アスパラ、行者にんにく、行者菜、夏大根（7月）
果物類…いちご（7月）、さくらんぼ（7月）

外から見た網走 part.2
“網走の宝”を探そう

皆さん、こんにちは！外から見た網走パート2となる今回は、《網走の宝》について考えてみたいと思います。

これを手にしている皆さんは普段、網走または周辺地域にお住まいだと思います。その皆さんが思いつく網走の宝は何でしょうか。

その宝は皆さんの大事なお客さまが、網走に来られた際に必ずお勧めする場所や物でしょうか?!

網走には海産物をはじめ、流氷や豊かな自然、そして網走監獄をはじめとした観光施設など様々な魅力がありますが、果たして皆さんは何を選んだのでしょう?

▲流氷船おーろらの乗客に手を振る流氷硝子館のスタッフ

前回の記事で「人がキラーコンテンツになる」という事を書かせていただきました。

観光やビジネスなどで訪れる人にとっては、その土地の人々と触れ合うという事。これが一番思い出に残り、最も魅力を感じる部分となります。

豊かな自然は日本全国どこへ行ってもありますし、流氷もオホーツク沿岸であればほぼどの街でも見る事が可能なのです。

しかし、「人との触れ合い」だけは街ごとに味が違う。また、心に強く残るものなのです。

「物見遊山な観光」がまかり通る時代は十年近く前に終わりました。今はその土地の魅力を探し、その土地の魅力を体験し、味わうために「地元の人の生活に溶け込むような観光スタイル」になっています。

▲工房スタッフとのふれあいが、旅の思い出をより印象的に

皆さんが思い浮かべた網走の宝も貴重で喜ばれるものだと思いますが、網走市民の一人ひとりが、観光やビジネスで網走を訪れた人に積極的にアプローチをしながら、触れ合う機会を設けると、他の土地にはないオンリーワンの「宝」が出来上がるので、試してみてはいかがでしょうか。

〈文：伊藤雄一（旅行業）〉

※写真提供：流氷硝子館

かなえの網走グルメ探訪
食いしん坊バンザ～イ♪

今度網走に帰ったら「あれとあれとあれ、絶対たべよー！」毎回そんな事を思いながら、女満別空港を後にします。毎回心残りの塊です。

網走には他の地域よりも飛び抜けてこれ！というものはないけれど、地味に美味しい、安くてみんなが大好きという、B級グルメがいっぱいあります。

その中でも私がまずオススメしたいのは、「道の駅メルヘンの丘めまんべつ（大空町）」にある『長いもだんご』。一口大で、外はカリッ、中はもちもちふわふわで、砂糖醤油につけて食べる、芋だんごの長芋バージョンです。これはよく考えたなぁーっていつも思う。

▲『長いもだんご』
道の駅メルヘンの丘めまんべつ

長芋には色んな料理法があるけど、痒くなりそうだし、水分を多く含むから固さ調節が難しそう。自分では作れないなと思うので、冷凍のものを買って帰ります。

東京に帰ってきてからも、また長芋だんごが食べられるのは、やっぱり幸せ♡お友達が来た時にお茶菓子として出したりします。

関西にいた時も東京に来てからも、これはみんなに大人気です。

そしてお土産で絶対的人気なのが『流氷飴』。姿形から、ちょっとハッカを連想させるのか、見た目でいらないという人もいますが、食べてびっくり、みんな「美味しい！」と言ってくれます。

小さな頃から馴染みのあるものを美味しいと言ってもらえるのは、自分が褒められてるような、地元を認めてもらえたような、そんな気がしてすごく嬉しい。

目立たない存在だけど、私にとっては欠かせない存在です。

次に、東藻琴の菅野商店さんの『生どら焼き』。初めて食べた時は、革命でした。

優しい味だけど、しっかり甘い。柔らかくてしっとり、ちょっと冷たいあの食感も、昭和にはない不思議な食感でした。

▲『生どら焼き』菅野商店（東藻琴）

今は全国に同じような商品が多いけど、私の中で生どら焼きといえば、これしかないんです。

また、東藻琴といえばもうひとつ、芝桜の季節にしか食べられない、芝桜ソフトクリーム。とても大好きです。

芝桜の景色も、あのお祭りも、芝桜を駆け抜けるゴーカートも、全部好きでした。

春になかなか帰る事ができず、いつもさみしい思い。あの味を年中食べられますように、どなたかお願いします・・・。あの甘くて優しいソフトクリーム、きっとみんなも好きになると思います。

網走とその周辺には、美味しい食べ物がたくさんあります。飛び抜けて「これ！」というものはなくても、ネームバリューがなくても、それでも「大好き、美味しい」と言って貰えるものがたくさんあります。

それらは私が網走を出て、色んな土地で暮らす中で、たくさんの方々と私を繋ぐきっかけになり、見知らぬ土地で暮らす私を支えてくれました。

全国の人が網走の良さをきっとわかってくれる。そう思います。

私は網走を故郷に持つ事を誇りに思い、今日も頑張っています。

〈文：杉本かなえ（アパレル）〉

※写真提供：（財）めまんべつ産業開発公社

地図で網走を再発見 part.2
網走の歴史の真相

▲網走市観光鳥瞰図（画：吉田初三郎、発行：網走市役所）

前号（12月号）に地図だけ掲載した「網走観光鳥瞰図」の作者について面白いことが分かりましたので、ご紹介します。

なんとこの地図が、京都府府立総合資料館のサイトに掲載されていました。ぜひお話を伺いたく、直接電話で問い合わせてみました。

すると、この鳥瞰図は吉田初三郎という鳥瞰図絵師の作品で、網走開基80年、市制3周年を記念に作られたということです。

吉田初三郎は生涯約3000点もの鳥瞰図を描いた人物。

彼は鳥瞰図を描くために北は北海道、南は九州まで直接現地に足を運び、さらには海外にも作品作りのために訪れていたようです。

また、自分で描いた鳥瞰図を観光パンフレットとして持ち歩き、各地を旅しました。

お話を聞いて、自分も吉田初三郎のように網走観光鳥瞰図を持ち歩き、網走の今と昔の違いを見比べてみたいと思いました。

〈文：渡辺和也（農業）〉

※取材協力：京都府立総合資料館
※参考資料：地図の資料館（WEB）／道立公園水郷都市網走「網走市観光鳥瞰図」